

# 第9回 西部パレット利用者連絡会ニュース

【発行】西部パレット利用者連絡会幹事会

【発行日】2011年7月23日 NO.13号

## ● 西部パレット利用者連絡会・全体会にご参加ください

3月19日の第8回西部パレット利用者連絡会全体会から4ヶ月が過ぎました。東日本も復興の問題に加えて原発事故の深刻さに憂慮すべきものがあり、関心を持ち続け、息の長い”東北とつながる”活動が必要となっています。

さて、前号での報告のように、パレットの今後をどうするのかについての県との話し合いが、県の主導のもとに始められました。第1回の会場は県の総合庁舎でしたが、総合庁舎の駐車場については「（1時間程度の短時間の利用を原則としているので、1時間を超える会議には）利用出来ませんので公共交通機関を利用してください」との連絡でした。

- ①県の「縮小移転案」では、駐車場のことについては何も説明されておらず、「駐車場が無料で使えるなら、移転のメリットがある」、と当時考えた人もいる
- ②現実問題として、車で動いている人が多く、諸活動で忙しい人にとって、駐車場が使えないのは問題である

と、申し入れて、「今回は例外的に、駐車場の利用を認める」ことになりましたが、総合庁舎への移転に関しては、NPOセクターとしての問題が多く起るため、利用者連絡会としてはその可能性を“ゼロ”としているところではあります。もしも総合庁舎に移転することになるとしたら、不便になるかもしれないことを痛感させられる一コマでした。

さて、話し合いで示された県の考え方は、概ね以下のようです。

これまで、パレットではNPOの立ち上げ支援や「活動場所の提供」を行ってきた。これからは、「中間支援」（自治体、企業、NPO団体間の調整・コーディネート）に移行する。浜松市の「協働センター」などの西部各市町の施設との役割分担をする。従来のパレットの支援は市や町の施設にやってもらう（もらいたい）。

従って、「中間支援」とは、どういうことかについて、理解を深める。先行的に活動している団体の報告を聞く機会を設けるなどして、24年8月をめぐりに、「あり方検討会」としての結論を出す、というものです。

極論すれば、「縮小・移転案」は、理解してもらえなかったもので、仕切りなおす。1年余りかけて県の方向性を理解してもらおう、というものです。

これまでのパレットの支援を、引き続き行うのか、他の施設に任せるのか、などの考え方の岐路にあるといえます。

「利用者連絡会」としての「パレットのザザシティでの存続」要望を、県に理解してもらうためには、私たち自身の意思統一をおこなう必要があります。そのために、全体会を開催します。ご参加をお願いします。

### 第9回 パレット利用者連絡会・全体会 開催のご案内

日時 8月12日(金) 18:30~20:30

会場 パレット会議室 A・B

議題 ・「パレットあり方検討会」報告

・利用者連絡会として、どのように考え・県と論議していくか、について、その他